

「尾瀬」の特徴を学ぶセルフガイド

作成：環境省尾瀬沼ビジターセンター

Point ポイント1

尾瀬沼ビジターセンターに行って、尾瀬沼でどれくらいの雪が積もるのか調べてみよう。

メートル



Point ポイント2

湿原を観察するとミズゴケ（右写真）が一面にあるよ。ミズゴケは湿原にとってとても大切なものなんだ。見つけたら、指で優しくさわってみよう。どんな感じだったかな？

※傷をつけないように気を付けよう。



Point ポイント3

燧ヶ岳がよく見えるビュースポットで、燧ヶ岳の山の形をスケッチしてみよう。どんな特徴があるかな？



絵を描いてみよう

Point ポイント4

尾瀬を守るためにさまざまな活動をされた人たちのお墓や記念碑があるよ。お墓にほらされている3つの歌を見つけて書いてみよう。

※お墓やその周辺では静かに、礼儀正しく行動しましょう。

●1つ目

●2つ目

●3つ目

※お花の名前は、代表的なポイントを示しています。



Point 4

平野家のお墓
記念碑

ヤナギラン



ワタスゲ

沼尻方面

沼山峠方面

ミズバショウ

Point 2

イワカガミ

ヤマドリゼンマイ

ハンゴンソウ

コオニユリ

尾瀬に生きる
動物たちも
見つけてみよう！



ヒオウギアヤメ
ツルコケモモ

ミツガシワ

オゼミズギク
ミズバショウ

Point 3

尾瀬沼ビジターセンター

Point 1



「尾瀬」の特徴を学ぶセルフガイド 解説編

作成：環境省尾瀬沼ビジターセンター

Point ポイント1

写真を見ると、ビジターセンターの入口がうまっているので、3m～4mもの雪が積もることが分かります。1年の半分が冬の尾瀬では、年間平均気温が約4℃と低くなっています。約4℃というのは、家の冷蔵庫と同じ温度です。



Point ポイント2

ミズゴケを指でさわってみると、湿っていることが分かると思います。ミズゴケにおおわれた場所では、ミズゴケがスポンジの役割を果たし、水をたくわえることで、湿原を乾燥から守ってくれているのです。



また、湿原は、水をきれいにしたり、炭素を貯蔵して地球温暖化を軽減してくれたり、多くの動植物が生活する場になっています。

●湿原ができるためには

ポイント1と2の2つがそろうこと、枯れた植物が分解されずに堆積して湿原が作られます。

私たち人間にとっても大切な湿原ができるためには、「年間平均気温が低いこと」「湿っていること」がとても大切なのです。



Point ポイント3

燧ヶ岳は、過去に何度もふん火したことがある火山で、過去のふん火によってできた5つの山頂があります。この燧ヶ岳のふん火によって周辺の川がせき止められたことで、尾瀬ヶ原や尾瀬沼などが生まれました。



Point ポイント4

尾瀬ではかつて、電気をつくるためのダム建設設計画や、福島県と群馬県をつなぐ道路建設設計画などがありました。

そうした中、お墓に眠る平野家人たちや記念碑が建っている武田久吉氏は、尾瀬のすばらしさと大切さを広め、多くの人と力を合わせて尾瀬を守る活動を行いました。今も美しい尾瀬が守られているのは、こうした先人たちの行動があったからなのです。

- ①ひらかむと 心つくして をせのぬに 鳴く水鳥の 聲をききつつ
- ②上つ毛と 岩代国 の 境なる 尾瀬の沼べに 住みつくわれは
- ③まもる 峠の縁の道を 鳥たちのすみかを みんなの尾瀬を 人間にとって ほんとうに大切なものを

全体のまとめ

尾瀬の美しい景色は、年間平均気温が低いこと、燧ヶ岳のふん火によって尾瀬ヶ原や尾瀬沼などが生まれたこと、尾瀬を守るための先人たちの行動があったこと、これらが重なってできたかけがえのないものです。そして、先人たちの行動はもちろん、訪れる皆さん一人一人の協力によって守られています。私たちも尾瀬や自然を守るために、自分にできることを考え行動していきましょう。